



東海シニア自然大学 開校 20 周年記念式典



今年、東海シニア自然大学は開校 20 周年を迎えました。
第 1 期生 36 名でスタートした東海シニア自然大学は、今年第 20 期生を迎え、36 名だった会員数は現在 500 名を超えています。ここまで成長し活動を継続できたのは、関わって下さった皆様のお陰です。これまでに沢山の方が東海シニア自然大学のために、知恵や力を貸してくださいました。支えて下さった皆様に感謝するとともに、今後もなお成長を続け、活気ある活動を継続していきたいと思っております。

20 年の感謝を込めて記念式典・講演会を下記の日程で開催させていただきます。どなたでもご参加いただけます。皆様のご来場をお待ち致しております。(お申込み不要です)

◆開催日 2025年1月29日(水) 10:00~16:00

入場無料
申込不要

◆会場 Niterra 日本特殊陶業市民会館「ビレッジホール」

・第一部 20 周年記念式典 10:00~12:30

あいさつ、来賓紹介、祝辞、映像と証言で綴る学園 20 年の歩み

・第二部 20 周年記念講演 14:00~16:00

『半径 100m でのしむ 身近な植物観察のススメ』

講師 鈴木 純 先生 (植物観察家) ※講演会の詳細は裏面参照



■会場までのアクセス■

- JR
東海道本線・中央本線「金山駅」下車
北へ徒歩 5 分
- 名鉄
名鉄名古屋本線「金山駅」下車
北へ徒歩 5 分
- 地下鉄
名城線「金山駅」下車 6 番出口より
北へ徒歩 3 分
(地下連絡通路あり)

駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

■お問合せ先■

NPO 東海自然学園 事務局
〒460-0022
名古屋市中区金山3丁目 8-8
TEL/FAX: (052)265-9019
Email: tokai@n-ac.jp

東海シニア自然大学 20周年記念講演会

◆講師 鈴木 純 先生 (植物観察家)

『半径100mでたのしむ 身近な植物観察のススメ』

鈴木純先生のご紹介 (自己紹介)

1986年、東京生まれ。新宿の都会で育つが、父が仕事の関係で長期間小笠原に暮らしていたため、頻りに小笠原に遊びに行く機会があった。都会の暮らしと、大自然の暮らしを行きかうことで、都会も自然も好きな人間に育つ。

自然と人をつなげる学問として、東京農業大学の造園科学科に進学。卒業後、青年海外協力隊に参加し、中国で2年間砂漠緑化活動に従事する。

帰国後、仕事と趣味を通じて日本各地の野生植物を見て回り、2018年にまち専門の植物ガイドとして独立。以降、野山ではなく、都市環境をフィールドにした植物観察会を開催することを生業としている。現在は、山梨県北杜市に在住。

★2021年5月に東京農業大学 造園大賞を受賞。

★2023年4月と11月に『ダーウィンが来た!』(NHK)に出演。

(著書の紹介)

- ◆冬芽ファイル帳/小学館 ◆シロツメクサはともだち/ブロンズ新社
- ◆花をそだててじーっとかんさつ全五巻/ほるぷ出版 ◆冬の植物観察日記/雷鳥社
- ◆子どもかんさつ帖/アノニマ・スタジオ ◆まちなか植物観察のススメ/小学館
- ◆すごすぎる身近な植物の図鑑/KADOKAWA ◆種から種へ命つながるお野菜の一生/雷鳥社
- ◆そんなふう生きていたのね まちの植物のせかい/雷鳥社

講演会でお話頂く主な内容

- 日々暮らす身近な環境でも植物は十分に楽しめる。買い物に行く道の途中、よく使う最寄り駅の駅前ロータリー、近所のちいさな公園など、観察ポイントは、そこら中に。
- 身近な植物観察は、「定点観察」が簡単に出来るのが魅力。植物はどんどん姿を変えていくので、芽生えから茎の伸長、開花、結実、種子散布までの成長過程のすべてを見るには、遠くの野山だとむずかしい。自分が暮らす場所の近くでなら、毎日でも観察できるので、定点観察が簡単。
- 名前を覚えるのと同時に、生態観察も楽しむ。どんな形の花が咲くか、そこにはどんな虫が来るか、実は誰が運ぶか、葉はどう光を集めるか。根をおろしたらそこから移動することができない植物の生き方を楽しむ。
- 本に書いてあったり、人から聞いたことであっても、それを「自分で」確かめることに、植物観察のおもしろさがある。世界初の発見よりも、「自分にとっての新発見」を楽しむことが大事。